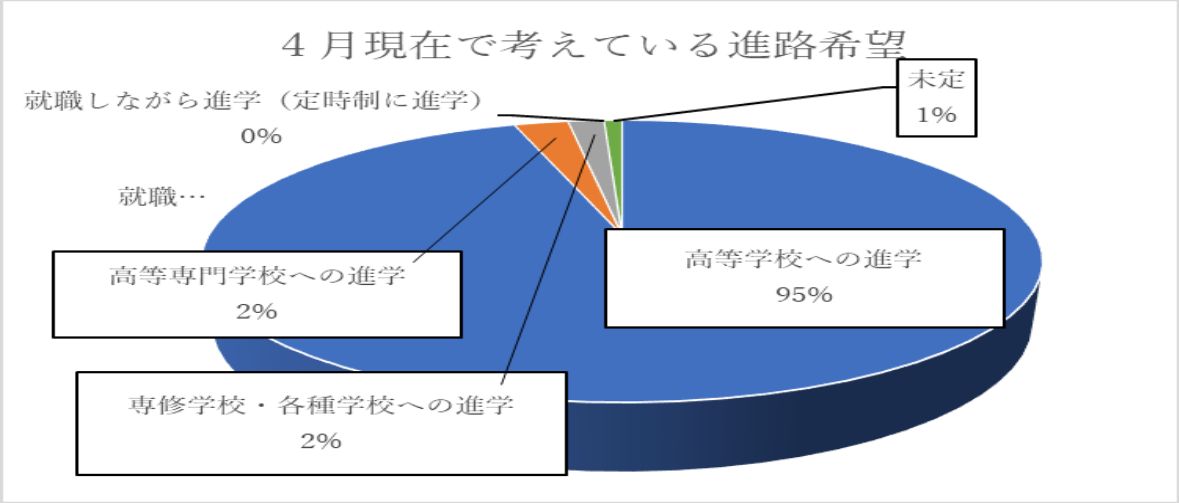
道しるべ

国立市立国立第三中学校
第３学年　進路だより
令和５年５月１５日（月）
№９

第１回進路希望調査の提出ありがとうございました。今回の調査は、現時点での大まかな希望という回答でありましたが、今年度の三中の進路指導の方向性を考えるうえでとても参考になりました。今後も希望調査をとっていきますのでよろしくお願いします。

第１回進路希望調査では、回答のあった９５％の生徒が進学希望であったことがわかりました。高等学校への進学を希望している生徒の中で、具体的な進学先を挙げているケースでは、約 70%が現時点では都立高校への進学を希望しています。現時点で都立高校か私立高校か未定としている生徒もいることからさらに都立を第一志望とする割合が増えることが予想されます。ここで大切になってくるのが併願校の存在です。併願校の選び方については、進路だよりの中でもふれていきたいと思います。また、私立高校への進学を希望している生徒の傾向としては、スポーツ推薦を含めて、推薦での受験を希望していることがわかりました。



第１回進路希望調査に書いていただいたご質問に回答いたします。

Q１　転居後間もないので進路情報の取得が不安です。

お子さんが初めて高校受験を迎えるご家庭や転居されて高校の場所や学校名がよくわからないというご意見はよくいただきます。そんなご家庭を対象として進路だよりなどの情報を提供していきたいと考えています。

Q2　推薦は複数校受けることができるのですか。

推薦は第一志望なので受験（受検）できる学校は原則一校となります。

Q3　受験生特有の不安を払拭するコツはありますか。

不安は取り組むべき課題が具体化していないときに大きくなります。模試などを受けて、自分の実力を知り、苦手科目や単元などを明らかにして、それに関係する事柄を覚えたり練習問題を解いたりすることを繰り返してみてください。受験特有の不安は自分自身の行動と努力でしか解消できません。

また、不安の多くは体調からくるとも言われています。体調を維持するのに必要な睡眠時間をしっかりとり、栄養のバランスの良い食事と適度な運動を毎日欠かさないようにしてください。もし、まだ不安があったとしても、適度の不安は学習へのモチベーションになります。不安がなくなるように毎日勉強して、不安が大きくなったときは、勉強した形跡をいつでも見返せるようにしておくとそれが自信につながります。

Q4　都立高校からの大学進学は難しいとききますが、どうなのか。

都立高校、私立高校に関わらず、ほとんどの高校が説明会やパンフレットなどで大学への進学率を紹介しているので、参考にしてください。一般的に大学への進学率が良いと考えられている大学付属高校であっても、付属大学への推薦枠が決まっています。また私立高校、都立高校に関わらず大学への指定校推薦をもっています。これらの推薦については高校によって大学の種類や推薦枠が異なってきますので高校の説明会などでご確認ください。

Q5　私立高校の個別相談とはどのようなものですか。

個別相談は２学期の成績が出る前に、１学期の成績をもとに合格の見通しを伝えてもらえたり、加点についてより詳細な話を聞くことができたりすることがあります。なお、私立高校の中には個別相談を受けていることが、推薦受験の条件にしている場合もあるので、受験する可能性がある私立高校は、できるだけ個別相談を受けることをお勧めします。

Q6　奨学金制度について

例年、奨学金一覧のパンフレットが中学校に届きますので配布します。多くの奨学金が中学校を通さずに直接申請することができます。

※東京都育英資金のみ中学校を通しての申請となります。

Q7　大学へ進学するのには付属高校が有利ですか。

一般的に付属高校に進学すると、その系列の大学への進学は有利になります。ただし、推薦には高校の成績や内部でのテストの成績によりますので、自分の希望する学部に進学することができるかはわかりません。付属に限らず志望校選びでは、その高校がどのくらい指定校推薦枠をもっているかなどの卒業後の進路状況なども確認すること大切です。

Q8　スピーキングテスト（ESAT-J）について、詳しく知りたいです。

今年度も１１月２６日（日）に実施される予定です。スピーキングテストの結果が都立テストの総合成績に反映されるものですが、もともとの趣旨は中学校での英語で学習した「話す力」がどれだけ身についたかを確かめるために実施されるもので、都立高校を受検しない生徒も含めて全員が受験することになります。

Q9　推薦や併願優遇の基準について

例年、９月後半から１０月にかけて、私立高校から推薦や併願優遇の基準について通知があります。１０月後半に行われる進路相談（面談）の時には具体的な成績の基準や欠席日数、加点項目など付帯条件をお伝えすることができます。そのためにも推薦や併願優遇制度の受験を考えている場合には、進路希望調査に具体的な学校名をご記入ください。

Q１０　調理師免許をとることができる学校はありますか。

多摩地区では大竹高等専修学校や多摩調理専門学校などがあります。ただし、通信制の高校と提携していて、高校卒業の資格を取れる場合とそうでない場合がるので注意してください。

都立高校では、少し距離は遠いのですが、北区にある赤羽北桜高校が調理師免許を取得することができます。

Q１１　どの模試を受けたらいいですか。

どの模試が良いかについてはお答えすることができませんが、模試を受けるメリットは、会場の雰囲気に慣れるとともに、定期テストとは異なるテストを受けることにより問題の傾向や出題の仕方を確認することができます。模試には「都立共通問題」を想定したものや「都立自校作成問題」を想定したものなどいろいろなタイプのものがあります。自分の得点力の推移も知ることができますので、志望校の対応したものを複数回受けるのも良いと思います。

Q１２　都立高校のスポーツ推薦について教えてください。

都立高校の文化・スポーツ特別推薦には、私立高校のように成績の基準は定めていません。ただし、選考には調査書の得点が５０％占められ、残り５０％が実技検査と作文・面接になります。募集人員も若干名で狭き門となっています。興味のある人は、必ず部活体験や練習会に参加してください。

※今後もご質問や要望がありましたら遠慮なくお伝えください。